

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音								
	1 室内騒音レベル			3.0				
	2 設備騒音対策							
1.2 遮音								
	1 開口部遮音性能			3.0				
	2 界壁遮音性能			3.0				
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	3.0				
	4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	3.0				
1.3 吸音						3.0		
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
	1 室温			3.0				
	2 負荷変動・追従制御性							
	3 外皮性能			3.0				
	4 ゾーン別制御性							
	5 温度・湿度制御							
	6 個別制御							
	7 時間外空調に対する配慮							
	8 監視システム							
2.2 湿度制御						3.0		
2.3 空調方式						3.0		
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
	1 昼光率			3.0				
	2 方位別開口			3.0				
	3 昼光利用設備			3.0				
3.2 グレア対策								
	1 照明器具のグレア					3.0		
	2 昼光制御							
	3 映り込み対策							
3.3 照度						3.0		
3.4 照明制御						3.0		
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
	1 化学汚染物質			3.0				
	2 アスベスト対策							
	3 ダニ・カビ等							
	4 レジオネラ対策							
4.2 換気								
	1 換気量			3.0				
	2 自然換気性能			3.0				
	3 取り入れ外気への配慮			3.0				
	4 給気計画							
4.3 運用管理								
	1 CO ₂ の監視							
	2 喫煙の制御							
Q2 サービス性能					0.43			3.0
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ								
	1 広さ・収納性			3.0				
	2 高度情報通信設備対応			3.0				
	3 バリアフリー計画							
1.2 心理性・快適性								
	1 広さ感・景観			3.0				
	2 リフレッシュスペース							
	3 内装計画							
1.3 維持管理								
	1 維持管理に配慮した設計							
	2 維持管理用機能の確保							
	3 衛生管理業務							
2 耐用性・信頼性				3.0	0.52			3.0
2.1 耐震・免震				3.0	0.48			
	1 耐震性			3.0	0.80			
	2 免震・制振性能			3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.33			
	1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.23			
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			3.0	0.23			
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	プラスターボード+ビニルクロス(耐用年数20年)		5.0	0.09			
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.08			
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の、2種以上にB以上を使用し、Eは不使用		5.0	0.15			
	6 主要設備機器の更新必要間隔			2.0	0.23			

2.4	信頼性		3.0	0.19	-	-	
	1	空調・換気設備	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備	3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備	3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備	3.0	0.20	-	-	
3	対応性・更新性		2.9	0.48	-	-	2.9
3.1	空間のゆとり		2.8	0.31	-	-	
	1	階高のゆとり	2.0	0.60	3.0	-	
	2	空間の形状・自由さ	4.0	0.40	3.0	-	
		壁長さ比率0.14					
3.2	荷重のゆとり		3.0	0.31	3.0	-	
3.3	設備の更新性		3.0	0.38	-	-	
	1	空調配管の更新性	3.0	0.17	-	-	
	2	給排水管の更新性	3.0	0.17	-	-	
	3	電気配線の更新性	3.0	0.11	-	-	
	4	通信配線の更新性	3.0	0.11	-	-	
	5	設備機器の更新性	3.0	0.22	-	-	
	6	バックアップスペース	3.0	0.22	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.57	-	-	2.7
1	生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.4
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	3.8
1	建物の熱負荷抑制		-	-	-	-	-
2	自然エネルギー利用		3.0	0.29	-	-	3.0
	2.1	自然エネルギーの直接利用	3.0	0.50	-	-	
	2.2	自然エネルギーの変換利用	3.0	0.50	-	-	
3	設備システムの高効率化	高効率型照明器具を採用	5.0	0.43	-	-	5.0
		集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)	5.0		-	-	
		集合住宅の評価	-		-	-	
		ERR=48.6%					
4	効率的運用		3.0	0.29	-	-	3.0
	4.1	モニタリング	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	3.0	0.50	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.0
1	水資源保護		3.4	0.15	-	-	3.4
	1.1	節水	4.0	0.40	-	-	
		節水コマ、節水便器を採用					
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用	3.0	0.60	-	-	
		1	3.0	0.67	-	-	
		2	3.0	0.33	-	-	
		雨水利用システム導入の有無					
		雑排水等利用システム導入の有無					
2	非再生性資源の使用量削減		2.7	0.63	-	-	2.7
	2.1	材料使用量の削減	2.0	0.07	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.24	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	-	
	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	1.0	0.20	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.05	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	4.0	0.24	-	-	
		躯体と仕上材、設備が容易に分別可能					
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.6	0.22	-	-	3.6
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.32	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避	4.0	0.68	-	-	
		1	-	-	-	-	
		2	5.0	0.50	-	-	
		3	3.0	0.50	-	-	
		発泡剤を用いた断熱材を使用していない					
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.3
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率85%	3.5	0.33	-	-	3.5
2	地域環境への配慮		3.3	0.33	-	-	3.3
	2.1	大気汚染防止	5.0	0.25	-	-	
		燃焼機器を設置していない					
	2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.50	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制	2.2	0.25	-	-	
		1	3.0	0.25	-	-	
		2	3.0	0.25	-	-	
		3	1.0	0.25	-	-	
		4	2.0	0.25	-	-	
		雨水排水負荷低減					
		汚水処理負荷抑制					
		交通負荷抑制					
		廃棄物処理負荷抑制					
3	周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止	3.0	0.40	-	-	
		1	3.0	1.00	-	-	
		2	-	-	-	-	
		3	-	-	-	-	
	3.2	風害・砂塵、日照障害の抑制	3.0	0.40	-	-	
		1	3.0	0.70	-	-	
		2	3.0	-	-	-	
		3	3.0	0.30	-	-	
	3.3	光害の抑制	3.7	0.20	-	-	
		1	4.0	0.70	-	-	
		2	3.0	0.30	-	-	
		屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					
		壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					
		チェックリストの一部を満たし、広告照明を行わない					